

ベーツヒラタカミキリ コウチュウ目カミキリムシ科

Eurypoda batesi Gahan

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー なし

選定理由

本種は南方系の種で、日本海側の北限に近く、個体数が少ない。また、生息地は照葉樹林に点在しているに過ぎず、隔離分布している。

形態

体長は26～34mm。体は赤褐色の扁平なカミキリで、全体に強い光沢がある。オスの大顎は大きく、発達している。触角は太く、オスでは長さが上翅の1/2を超える。脚は太く短い。

国内分布

本州（関東以西）、福井県雄島、隠岐、淡路島、四国、高知県沖ノ島、九州、伊豆諸島、対馬、五島、屋久島、口永良部島、中之島、奄美大島、徳之島、沖縄本島。

県内分布

加賀市、小松市、羽咋市、七尾市、珠洲市。

生態

成虫は7～8月頃に出現し、スダジイの古木周辺で見られる。昼間は枯死部に潜入しているが、夜間に活動する。

生息地の条件

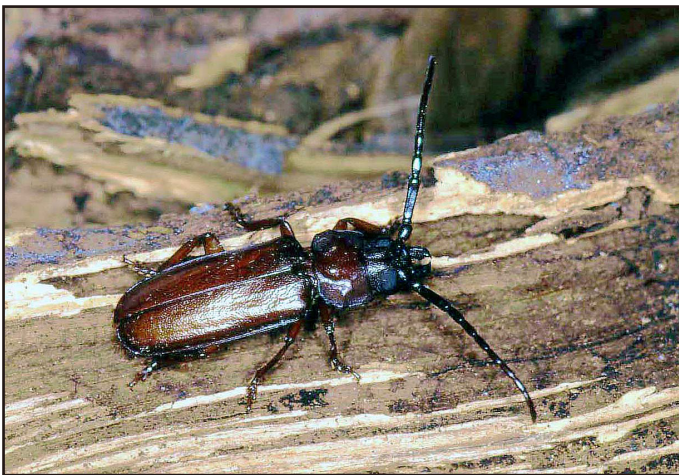
平地において、スダジイ等の大木が残る照葉樹林が残されていることが重要である。このような場所は、本県では社叢林や史跡にしか残されていないため、それらの保全が重要である。

生存の危機

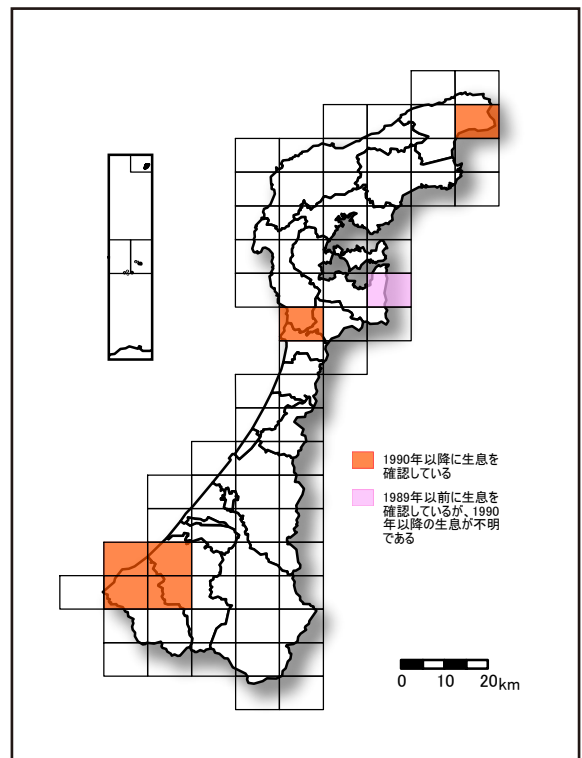
県内の生息地は、社叢林など10箇所程度に点在しているに過ぎず、隔離分布している。また、生息地が狭いうえ、各生息地の個体群の交流が望めず、絶滅の恐れがきわめて高い。開発行為は言うに及ばず、社叢林内の枯死木の除去、林床の整備、伐採は、確実に絶滅につながる。(A)

参考文献

井村正行 1998. コウチュウ目カミキリムシ科. 石川県の昆虫 : 197-217. 石川県自然保護課.



写真提供者: 富沢章



県内の分布